みしまだより

～三島まち協からのお知らせ～

令和４年２月号

三島まちづくり協議会
会長　豊島 仁美
壱岐市郷ノ浦町大島 607
TEL090-6770-1653
支援員　竹口 賀代子

みなさん、お気づきですか‼

こんなにもかわいいペンギンさんたち❣

おさかなをとったよう‼
おなかのポケットに、じょうずにおさかなをつめこみ、両手をいっぱいに広げ、楽しそうに今にも、飛び出してきそうです‼
おさかなを、落とさないようにねこちゃんにとられないように!(^^)!

保育園児のみなさん、先生、いつも楽しませていただいて、ありがとうございます。

またまたかわいいおひなさまと、おだいりさま❣

フェリーの中、かわいいおひなさまと、おだいりさま、桜の花もさきほころび、にこやかにえがおで、みんなの顔をなごませ、今にも声をかけられそうです。

やさしくほほえみながら、みんなを見つめ、みなさまの安全をお祈りします。と、おだいりさまと、おひなさまが願われておられます。
本当に、心がなごみます。いつもありがとうございます。

イスズミハンター

「イスズミ」海水温が高い時期にしか日本海にいなかった、海藻を食べる厄介な魚が年間を通じて生息するようになった、この魚を駆除することによって、海の環境を守る取り組みが広がっている。県漁港漁場課によると、イスズミは藻を多食するため独特なにおいがある。うろこが硬く価格が安いため漁業者が積極的に捕まえることがなかったため、生息数が増えたとみられる。ただ、歯ごたえのある淡白な身は一部の地域で好まれ、東京・伊豆諸島では湯引きで食されているらしいです。藻場は生物生産や環境保全の場であり、生物多様性の維持には欠かせません。産卵や保育・摂餌等の場として魚介類が集まる藻場は漁場としても利用され、特にアワビ、ウニ、サザエ等の磯根資源が豊富なアラメ・カジメ類の藻場は、沿岸漁業の最も重要な漁場になっています。

毎日、冷たい風、時化の中、本当にご苦労様です。イスズミ、沢山取れると良いですね。頑張ってください！まだまだ、コロナ感染予防が必要です。気をつけてくださいね。何か聞きたいこと、ご意見等ありましたら、お気軽にご連絡下さい。

支援員携帯番号　０９０－６７７０－１６５３